

新入社員を迎えて



マルサンアイ株式会社

代表取締役社長 堺 信好 氏

教育随想



令和6年7月1日

7月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
マルサンアイ株式会社 代表取締役社長 堺 信好 氏	
この人に聞く……………	2
総合花火販売店 代表 佐野 和子 氏	
羅 針 盤……………	2
前保健体育科指導員 杉浦 大作	
ふれあい……………	3
美川中学校 教諭 松田 優佳	
特 集……………	4
岡崎市の水害対策 ～六名雨水ポンプ場 雨水対策事業～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
竜南中学校開校式(昭和161年)	
この本を……………	8

マルサンアイ株式会社は、一九五二年に岡崎の地に誕生し、以来七十年以上に、数々の苦難を乗り越え、岡崎とともに育ってきました。当社をここまで育てていただいた地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。さて、今年も心待ちにしていたフレッシュな新入社員を迎えることができました。若さ溢れる新入社員を見てみると、こちらも元気をもらえます。

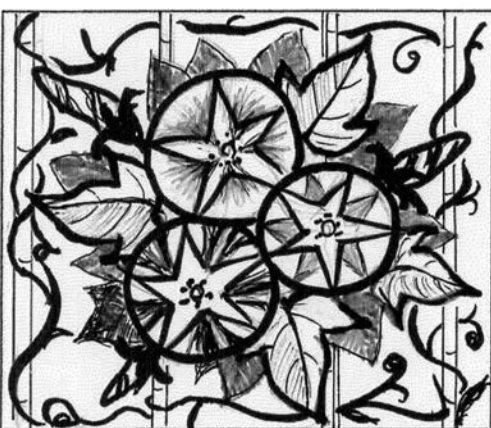
最近世の中の流れとして、せっかく入社してくれた新入社員が、すぐに離職してしまう事例が増えていくようです。仲間を失うことは非常に寂しく、会社の将来を思うと心配な事でもあります。

今年の入社式では、「沈限最(チンゲンサイ)」の話をしました。「沈黙する」「限界まで我慢する」「最後

まで言わない」ことがないようにとの訓示です。最近の新入社員を見ると、皆真面目で優秀ではありませんが、休憩時間は各自スマートフォンを触るなど、対面での会話はあまり重視せず、殻に閉じこもる傾向があるように感じます。

「上から三年、下から三日」という言葉があります。これは、上司が部下を見定めるには三年かかるが、部下は上司の正体を三日で見破ってしまうという意味です。教師と生徒の関係にも通じるものがあると思いますが、「自分をさらけ出すことができる無防備状態の一人の上司」対「言いたいことを言わずがっちりとした鎧兜状態の多数の部下」と思えば、納得できる言葉ではないでしょうか。

人は誰かに褒められたり、自分の



(かいかいのぶよし)

行動に対する成果が出ることで、仕事に対するモチベーションを上げていくことができます。部下の様子をしつかりと見守り、鎧兜を脱がせてあげられるよう、成長への具体的なフォローができれば、少しでも仲間を減らさずに済むようになるのではないかと考えます。



花火の伝統、魅力を次世代へ

総合花火販売店代表

佐野 和子氏

店頭で陳列された色とりどりの花火を見ているだけで心が躍る。夏が来るたびに、多くの方がこの店を訪れる。佐野さんは、花火の伝統と魅力を次世代へとつなげるために、会社や地域、家族、お客様への感謝を大切に、今日も笑顔で店頭に立つ。

— 会社の経営理念「感謝と笑顔」についてお聞かせください —

岡崎は三河花火発祥の地です。その昔、徳川家康公が鉄砲製造のために、三河に火薬を扱うことを許可しました。当時の人が鉄砲を撃つ際に出る火花をきれいだと思ったことから、花火作りが始まったという歴史があります。そのため、この地方には、現在も多くの花火職人や問屋が残り、伝統を受け継いできました。また、危険を伴う火薬を扱ったり、夏場はお客様が増えたりするのに、

近所の方たちは協力的です。だからこそ、三河花火の伝統を受け継いでいけることや地域の方々への「感謝」を忘れてはならないと考えました。

お客様がどの花火にしようかと話し合う表情は、にこやかで心温まるものがあります。そこで、花火を通して、お客様の家族や友達を笑顔にしたいと思いました。だからこそ、経営理念に「笑顔」と入れました。

— 花火の魅力を次世代へとつなげるために、どのような取り組みをしていますか —

花火には、する人だけでなく見る人も笑顔にし、人の輪を広げる力があります。これが最大の魅力です。

店では、自分の好みに合う花火、欲しい花火だけを購入できるように、一本ずつばらで販売しています。家族や友達と花火を選んでいるお客様は、大人でも童心に返ったような素敵な笑顔を見せてくれます。

私は、小学校の学区探検や中学校の職場体験、大学での講演などの依頼を決して断りません。この地で花火店を営んできているのは、地域の方々のおかげだからです。三河花火の歴史や会社の経営理念を話すことで、より多くの方に三河花火について知っていただくことができます。

私の会社では、繁忙期の夏でも休みが取れます。また、勤務中でも携帯電話をそばに置き、家族から連絡があれば話をしてもよいと社員に伝

えています。子供は母親の声を聞くことで安心します。逆に、親は子供の声を聞くことで仕事にギアが入り、やる気が出るものです。それは、女性も男性も同じです。安心して子供を育てられる会社になれば、自然と感謝の気持ちが芽生え、笑顔があふれる職場になります。互いに苦労を認め合い、会社がよりよいものになれば、次はともに働く輪が広がります。そうすることで、伝統を絶やすことなく、花火の魅力を次世代へとつなげることができそうです。

— 今後の願いをお聞かせください —

この仕事には、地域の方や仲間との協力が欠かせません。とても感謝しています。次の世代の人たちのために、今まで以上に会社を働きやすい環境にし、花火の伝統と魅力を今後にも伝えていきたいと考えています。

近年、花火をする場所がないという声をよく耳にします。周りからは「そんなことは無理」と言われますが、将来的には広い場所を購入して花火ランドを作りたいと考えています。みなさんが笑顔で楽しく花火をしてほしいという思いからです。



氏名 佐野 和子
生年月日 昭和三十六年
二月十七日
住所 岡崎市柱町



豊かなスポーツライフに向けて

前保健体育科指導員

杉浦 大作

保健体育科のねらいは、運動技能を身に付けることだけでなく、運動や健康について自他の課題を発見し、その解決に向けて思考・判断する力を養うことを目指している。

中学校二年生「マット運動」の授業で、A教諭は、まず技が滑らかにつながらない試技の動画を見せた後、「連続技を滑らかにつなぐポイントは何か」と学習課題をたてた。次に、足を交差させたり、前後にずらしたりするなど、次の技につなぐための前転の着地の仕方を変える補助運動を行った。

練習の中盤、なかなか上達が見られない状況を察したA教諭は、導入で行った次の技につなぐための補助運動の動きを取り入れて練習するBに、全体へ話す機会を設けた。「足を交差させて着地して、前転の終わり



優しい人になる

美川中学校

教諭 松田 優佳

「めんどうくさい。」

出会ったころのAさんは口癖のようにこの言葉を発していた。

四月、中学二年生に進級したAさんの担任となった。

Aさんのことをよく知りたいと思った私は、できるだけAさんと会話をするようにしたが、会話が続かないことが多かった。その一方、赴任したばかりで困っている私に、学校のルールを教えてください、お願いすると文句を言いながらも手伝ってくれたり、頼もしい一面も見られた。もしかすると、言葉遣いや態度で認められなかった経験が、Aさんに寂しい言葉を選ばせてしまっていたのかもしれないと考え、Aさんの行動と、その前後の言葉に目を向けていくことにした。

ある日の道徳の時間、いつものように「めんどうくさい」と言いながらも、教材の読み聞かせを、真剣な表情で聴くAさんの姿があった。読み終わった後、「この家族には、お父さんがいないよ」と言うAさんに「なんでそう思ったのかな」と尋ねると、「絵にお父さんの写真があった。でも出てこないから、死んじゃったんだよ」と発言した。「よく見ていたね。Aさんは先生が読んでいるとき、真剣に聞いていたから気づけたね」と伝えると、満足そうに微笑んだ。級友と自分の考えを交流するときには、「めんどうくさい」と言いながらも、一番に動き出した。すかさず「一番に行動してくれてうれしいな」と伝えると、照れながらも率先して近くの級友と交流し始めた。さらに、交流できずに立ち止まっていた級友に自分から声をかけていた。「めんどうくさい」は照れ隠しや単なる口癖で、本来のAさんは人の話をよく聞いたり、周囲の変化に敏感に気づいたりすることができ、積極的に人と関わりをもちたいと思っているのではないかと、授業を通して感じた。それからは、Aさんのよい言動を見つけては褒めることを続けた。

二期のある日、「先生おはよう」

と、初めてAさんから挨拶をしてくれた。私はうれしくて、「Aさんの挨拶で元気が出たよ。うれしいな」と伝えた。「ふーん」とそっけない言葉が返ってきたが、その日を境にAさんは欠かさず挨拶をしてくれるようになり、あの口癖を聞くことも少なくなった。

三期、Aさんは新年の目標を「優しい人になる」と決めた。立志の式では「誰にでも優しくできる人になる」と決意を固め、学年全体の前で発表した。素直な自分の気持ちを表現するAさんの姿は凛としていた。「優しい人になる」という目標には、人との温かな関わり合いを求めていたAさんの本音が垣間見える。これからもその思いに寄り添い、見守り続けたい。



から後転の始めまでを滑らかにしました」。そこで、A教諭が「技の終わりの姿勢」「次の技につなげる」という視点で意見を求めると、次々に意見が続いた。Bへの意図的指名で、生徒たちはつなぎの動きが、課題解決への糸口になると気付いた。何を改善するか明確にできた生徒たちは、体力や技能の程度を超えて支え合い、技を高めていった。

終盤、BはA教諭に「つなぎはうまくできるようになったけど、技の終わりの着地がきれいに止まらない」と相談した。Bの困り感を受け止めながらも、A教諭はすぐに助言をしないでBの試行錯誤をじつと見守る。するとBの周りの生徒から、自然に助言が生まれた。Bは、仲間から助言をもらいながら粘り強く練習し、ついにきれいな着地を成功させた。仲間とともに納得のいく技を完成させたBは、充実した表情を見せた。

A教諭が視点を与え、学習したことを基に解決の仕方等を伝え合う場を設けたことで、生徒が課題に向き合う姿が生まれた。また、安易に助言せず、生徒の思考・判断を見守ることで自立解決を引き出した。こうした積み重ねが、自信を生み、運動の楽しさや喜びを感じさせ、豊かなスポーツライフにつながると考える。

岡崎市の水害対策 ～六名雨水ポンプ場 雨水対策事業～



▲雨水ポンプ場施設の見学(六名小)



▲六名雨水ポンプ場施設 乙川までの排水経路



▲六名雨水ポンプ場施設(六名本町)

平成二十年八月末豪雨により、岡崎市に時間雨量一四六・五ミリという猛烈な雨が降った。床上浸水一〇棟、床下浸水二二五棟の浸水被害が発生し、尊い命が犠牲になった。それまでも六名・江口地区、愛宕・伊賀地区、矢作地区などで冠水する場所が多く、雨水、下水に関する対策が切実な課題だった。

その中で、国からの特別予算をもとに、対策事業として進められたのが、六名雨水ポンプ場の建設である。ポンプ棟は、地上二階、地下一階の鉄筋コンクリート造りの下水道施設である。豪雨時に占部川に排水できない雨水を乙川に排水することを目的に、建物六九一平方メートル、六十六億三八〇万円をかけて作られた。令和五年三月に完工式が行われ、ポンプ場の稼働により、令和五年六月の豪雨による浸水被害を免れることができた。

また、現在は、国道二四八号の地下を掘り、伊賀川の水が溢れそうな場合に、矢作川に水を流せるように工事が進められている。さらに上流の工事だけでは、増水時に下流域に負担がかかりすぎてしまうため、下流の河川幅を広げたり、護岸工事を進めたりしている。

六名雨水ポンプ場の近隣の六名小学校の児童や、竜海中学校の生徒を対象に、ポンプ場の見学が行われている。過去の浸水被害にあった街の様子や行政の取り組み、ポンプ場の役割を学ぶことで、子供たちの防災に対する意識が高まることだろう。一方で、優れた施設に頼るだけではなく、先人の話を聞いたり、減災・防災に対する意識を日ごろから高めておいたりすることも大切である。

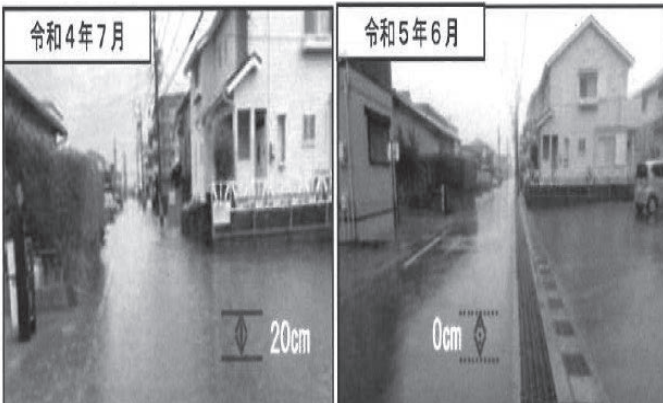
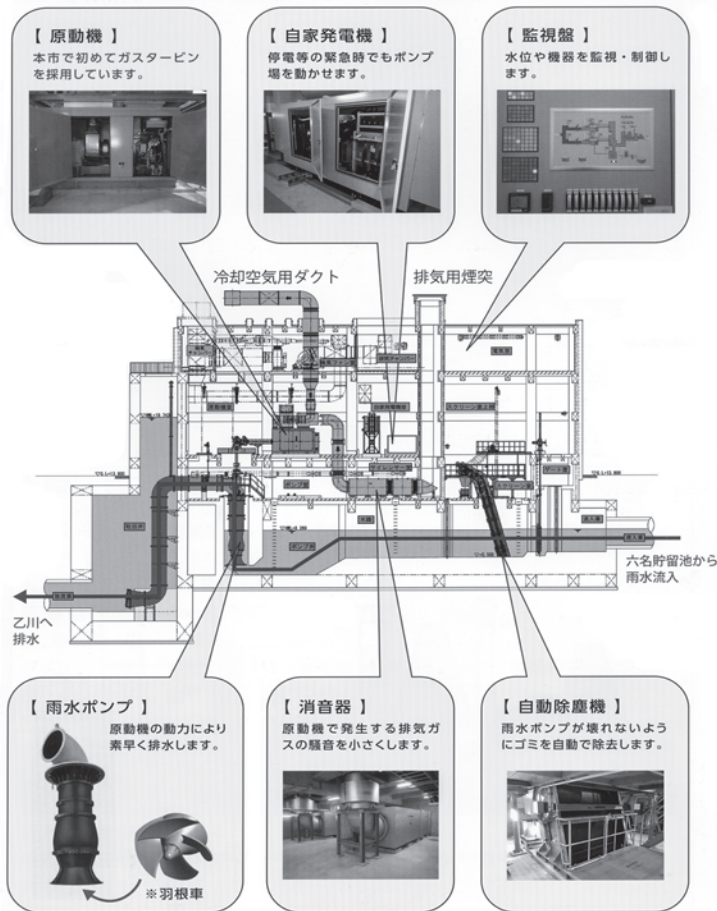


▲六名地区の被害の様子(平成20年8月末)

昔の乙川は、現在とは異なり、六名学区の中心部を流れていました。水害を防ぐため、室町時代に堤防が作られ、今の乙川の原型が作られたそうです。それでもこの地域は、大雨のたびに水害に悩まされてきました。

平成二十年八月末豪雨では、床上床下浸水が四九六世帯にも及ぶ、大変な被害でした。そのため、六名公園付近から乙川へ放流できる雨水ポンプ場の建設は、私達にとっての悲願でした。今は大雨による被害がなく、近所の皆さんと一緒に大変喜んでいきます。

【長年お住まいの六名学区住民の声】



▲ポンプ場の整備効果

▲六名雨水ポンプ場



●少年自然の家だより

山の思い出を拾いに

所長 高橋 誠

所歌「山のなかま」とは、開所十周年を記念して作られた。その中に「落ち葉スキーに川遊び：(中略) キャンプファイヤー囲もうよ」とある。今年で開所四十七年目。最初に落ち葉スキーを滑った世代は、そろそろ還暦を迎える。ところで、小中学校を岡崎で過ごした人がすべて共通の体験をもっているかという点、実はそうではない。

本施設での主な活動には、「落ち葉スキー」「カヌー・川遊び」「直火で野外炊爨(飯盒炊飯)」「キャンプファイヤー」「アスレチック」「ウォークラリー」「天体観測」「ウッドバーニング」などがある。昔は小・中学校と二〜四回利用したので、おそらくこれらのすべてを体験したという人もいる。逆に、天候や時期のタイミングが合わず、運悪くほと

んどを体験していないという人も、実際にはいる。同じ岡崎で育ったのにこの「思い出の差」は大きい。さらに今は一泊利用となり、体験できる機会は減った。

「せっかくの山。森の風や川の心の心地よさ。暗い夜に燃え上がる炎やきらめく星々の美しさ。それらをもつと岡崎っ子に体験してほしい」そんな思いから新たに提案したのが「ワンデイ山の学習」遠足で自然の家に来ませんか」である。

五年生の時にできなかった「落ち葉スキー」や「カヌー・川遊び」。レトルトパックでなく米研ぎからやる「カレー作り」。三メートルを超える火柱を囲む「キャンプファイヤー」。それらにトライしに来てはどうか。単に「落ち葉で焼き芋」しに来るのもいい。せっかく岡崎で育ったのだから、これらを「自然体験にかかわる、岡崎っ子の共通の思い出」にぜひともしたいと考える。

冒頭の所歌のラストでは「さあさ力合わせて、頑張るぞ」に続け、子どもたちは「おお」とこぼしを突き上げる。いくつになってもみな、その動作一つで、「あのとき」がよみがえる。そんな岡崎っ子を育てていきたい。



▲夏限定のカヌー漕艇

▲中学生のワンデイ CAMP

●表彰

◆第40回愛知県中学生体重量道大会

○男子団体の部

55kg級 3位 矢作北中

◆第55回全国中学校ソフトテニス大会強化事業石川オープン2024

○女子団体の部

3位 矢作中

◆愛知県アーチェリー協会 卯月杯

○リカーブ部門 30M・18M

優勝 東海中 北岡 夏姫

2位 東海中 太田奈津美

3位 東海中 中田 旺見

◆ALL JAPAN アーチェリー FES 2024

○リカーブ部門

中学生女子 30M・18M

優勝 東海中 太田奈津美

2位 東海中 北岡 夏姫

3位 東海中 内山 未久

○リカーブ部門 中学生男子 30M・18M

2位 東海中 中田 旺見

3位 東海中 熊田 晴天

◆令和5年度学校関係緑化コンクール

○学校環境緑化の部 特選 形埜小

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

＜令和6年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】【ブラッシュアップ研修】＞

1【基礎編】

①7月23日(火) 午後

研修番号	研修名	会場
1	保健	総合学習センター 多目的ホール1
2	特別支援	総合学習センター 小ホール
3	理科	総合学習センター 研修室1・2
4	音楽	六ツ美西部小学校 第1音楽室
5	学習情報	福岡中学校 普通教室

②7月24日(水) 午前

研修番号	研修名	会場
6	英語	総合学習センター 多目的ホール1
7	外国語	総合学習センター 多目的ホール3
8	社会	小久井農場
9	体育・保健体育	岡崎中央総合公園 武道館

③7月24日(水) 午後

研修番号	研修名	会場
10	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール、研修室2
11	総合	総合学習センター 研修室1
12	特別活動	総合学習センター 研修室5

④8月2日(金) 午前

研修番号	研修名	会場
13	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール
14	道徳	総合学習センター 小ホール
15	図画工作・美術	総合学習センター 研修室1・2
16	生徒指導	総合学習センター 研修室5
17	生活	根石小学校 理科室
18	技術(【専門編】含む)	常磐中学校 パソコン室
19	家庭	常磐中学校 家庭科室

2【専門編】

①7月24日(水) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
1	生活	総合学習センター 小ホール	鈴木 大介
2	保健	総合学習センター 研修室2	鈴木 滋子
3	理科	自然科学研究機構 分子研・基生研・生理研	日下部教子 竹内 翔

②7月26日(金) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
4	社会	総合学習センター 多目的ホール1	安井 文一 平岩 大督
5	総合	総合学習センター 多目的ホール3	酒井 智之
6	生徒指導	総合学習センター 研修室1	武藤 憲 山本 公三
7	道徳	総合学習センター 研修室2	米坂 達也
8	体育・保健体育	岡崎中央総合公園 武道館・第1・2会議室	大野 孝輔 稲吉 晃一
9	学習情報	福岡中学校 普通教室	太田 尚志 鈴木 広樹

③7月30日(火) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
10	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール1	西尾 修一 神谷 尚希
11	特別支援	総合学習センター 小ホール	杉山 彩 橋本 啓子
12	特別活動	総合学習センター 研修室1	菅沼 友香
13	図画工作・美術	少年自然の家	堀口 宏章 中根 勲子
14	音楽	矢作北小学校 音楽室	三輪 佳奈子 服部 晃峰

④7月31日(水) 午前

研修番号	研修名	会場	講師
15	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール、小ホール	高橋 遼 石田 勝重 石川 俊之
16	外国語	総合学習センター 研修室1	梅岡 知充 渡邊 康平
17	英語	総合学習センター 研修室2	梅岡 知充 渡邊 康平
18	家庭	愛宕小学校 家庭科室	阿部 祐子

3【推進編】

①7月24日(水) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
1	授業指導研修	総合学習センター 小ホール	小田 幸子

②7月26日(金) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
2	生徒指導推進研修	総合学習センター 小ホール	神谷 敦仁
3	日本語教育推進研修	総合学習センター 研修室2	荒井 留美

③7月30日(火) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
4	特別支援教育推進 研修	総合学習センター 多目的ホール1	鈴木 孝広
5	研究推進研修	総合学習センター 多目的ホール3	永井 利昌
6	保健・衛生・食育 推進研修	総合学習センター 研修室2	畠中 恵実
7	ICT・プログラミング 教育推進研修	総合学習センター ICT室	内田 雅之

④7月31日(水) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
8	道徳教育推進研修	総合学習センター 多目的ホール1	本郷 一毅
9	学年経営推進研修	総合学習センター 研修室1	鈴木 正統
10	学習評価研修	総合学習センター 研修室2	深津 伸夫

＜令和6年度ブラッシュアップ研修＞

①7月26日(金) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
B	国の教育政策や世界 の教育の動向	総合学習センター 多目的ホール1	稲垣 幸一
C	学習指導要領の改訂 の動向等	総合学習センター 多目的ホール3	金指由香里
D	学校における危機 管理上の課題	総合学習センター 研修室1	杉田 吉男

②7月31日(水) 午後

研修番号	研修名	会場	講師
A	子どもの発達や生活 の変化を踏まえた課題	総合学習センター 多目的ホール3	永田 勲
E	ICT研修	総合学習センター ICT室	村田 貴志 杉坂 和俊

・カ
ツ
ト

梅
園
小

吉
田
真
由
子

私服と3校の制服 での開校式 (昭和61年)

写真提供：竜南中学校

昭和六十一年四月、竜南中学校が開校した。まだ制服がなかったため、一年生は私服で、二、三年生は美川中、福岡中、南中の制服を着用し、開校式に臨んだ。美川中学校代表生徒が、開校にあつての喜びの言葉を述べている。後ろには、坊主頭の初々しい一年生が私服姿で座っている。その一年生は、同年六月一日の衣替えから夏の制服を着用し、中学生になった喜びや自覚を噛みしめたという。

この制服も、本年度、男女兼用ジャケットの新しいデザインに完全移行した。生徒たちは、これまでの伝統を大切に繋ぎながら、「新しい学校」を創っていく。



東海豪雨や平成二十年八月末豪雨による甚大な浸水被害を受けた六名・江口地区。地域住民にとって、待望の雨水ポンプ場の完成であった。設備には最先端の技術が導入され、市民の安全のため大いに貢献している。

今後さらに進められる減災対策事業に加え、市民一人一人の防災意識の高揚が必要である。

ホ

と



▲熱中症対策ミストシャワー (細川小)

梅雨が明け、吹く風にも熱気がこもる。市内全小中学校へ空調設備が設置されて、五年が経つ。休み時間が終わり、校庭から教室に戻った子供たちは、安堵した表情を見せる。

一瞬の夏の思い出が、一生の財産になることもある。子供たちの健やかな成長を、我々教師は支えたい。



***本物には愛がある**
PHP文庫
黒柳 徹子 ¥830

心に残った一文
機械がどんなに進んでも、人間は最後は、愛とか優しさを望む。

個性が強すぎるため周りから受け入れられなかった筆者を救ったのは、ある劇作家からの「今のままでいいんです。君の個性が欲しいから」という一言。この愛のある一言により、筆者は自分が受け入れられたと感じ、自分に自信をもてるようになった。このことが大きな転機となり、独特な発想と軽快な口調を武器に、人気を獲得していった。

目の前の子供も周りからの愛情を求めている。子供が抱える様々な課題の解決の糸口として、深い愛で子供を包み込む支援の大切さを実感させられた。

- *聴く監督 吉井 理人 KADOKAWA ¥1,500
 - *壁を越えるマインドセット 木村 敬一 プレジデント社 ¥1,500
 - *「科学的」は武器になる 早野 龍五 新潮社 ¥590
- 上地小学校 浅井 貞人